

- 1 『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2 『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3 『まごころのある医療人』を、全力で育成します。

地域医療連携だより

平成30年
5月号
第35号



Photo by Daisuke Wada

新病院の様子はこちらから
みんなの病院Facebook
<https://www.facebook.com/minnano.hospital/>



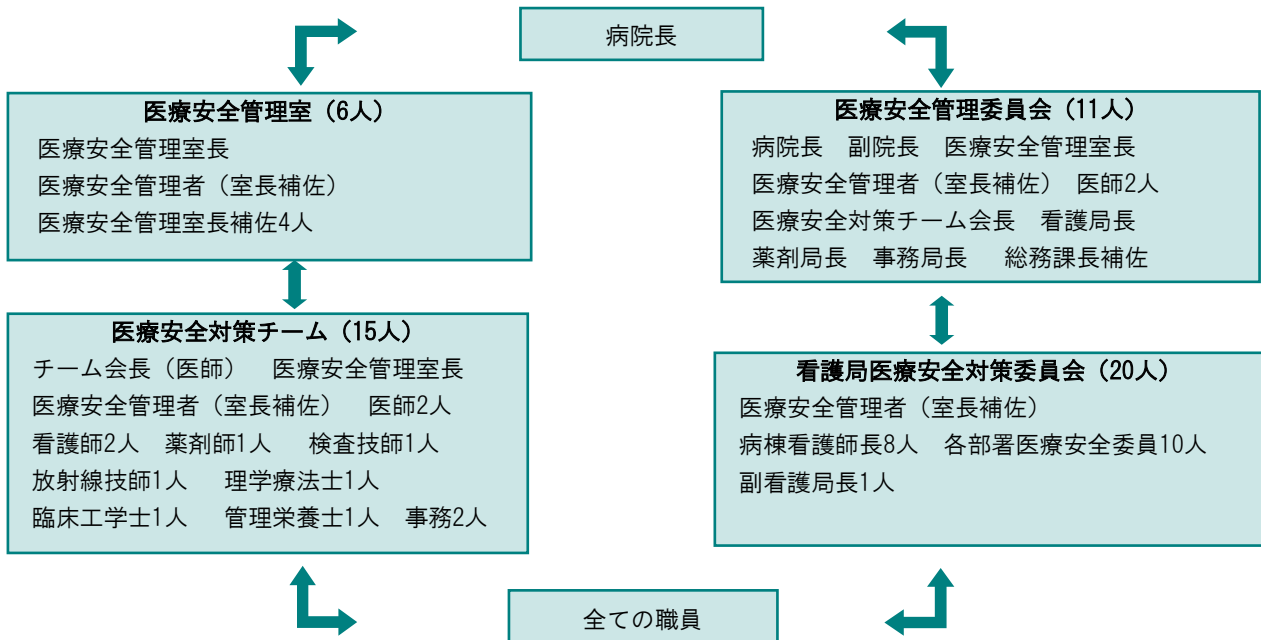
医療安全管理室

医療安全管理室を紹介します。

高松市民病院は2000年8月に看護科（現在の看護局）に医療事故防止対策委員会を設置しました。同委員会は2003年5月、医療事故対策委員会・対策部会に改組し院内全体の組織として活動を開始、2009年7月に医療安全管理委員会に名称変更しました。2011年4月に医療安全管理者を配置した医療安全管理室を設置をしました。



高松市民病院医療安全管理組織図



現在の活動内容

市民の皆さんが安心して医療を受けられる環境の整備と質の高い医療サービスを提供するために医師・看護師・助産師・薬剤師・検査技師・管理栄養士・理学療法士・臨床工学士・事務など全職員が連携し、医療安全推進活動を行っています。

その一つとして、毎月25日を含む一週間を「医療安全推進週間」として安全の基本を確認しています。また、医療行為、薬剤を使用するときは「医療安全標語」と「薬剤確認の基本」を活用し、患者誤認や誤薬投与予防に役立てています。

研修風景



さらに、医療安全対策チームが中心となり、全職員対象に年間12回以上の医療安全研修を開催しています。

外部施設への研修は、香川診療所、塩江分院、医療・介護関連施設職員研修会を実施しています。

また、未来の看護師となる看護学生を対象に医療安全研修やブランクのある再就職看護師対象に看護力再開発講習を実施しています。

「ヒヤリハット報告」は、全職員から報告を受け、医療安全対策チームで検討した後、医療安全管理委員会で原因の分析・究明と再発防止策等の評価を行い、毎月、全職員を対象に「ヒヤリハット報告会」を実施しています。

当院では、市民や患者さんの知る権利に答え、社会的責任を果たすこと目的として高松市立病院医療事故等公表基準を定め高松市病院局医療安全評価委員会を組織しています。評価委員会で一年の報告総数と概要別・レベル別について評価・提言を行い結果を公表をしています。

昨年夏の高松市民病院文化祭では、地域の皆さんを対象に「人間の特性」「意外と多い転倒転落」「患者さんは医療安全パートナー」の講座と、「スイスチーズ理論」「相手に正しく伝える思いやり」「患者さんを間違えない方法」等の劇で、医療安全への取組みを紹介しました。



病院文化祭 小劇場

今後の目標

1. 重大なアクシデント件数ゼロを目指す
2. 身体拘束マニュアルの見直しと拘束方法の再確認
3. 各種マニュアルの見直しと遵守率の向上策を立案
4. 転倒・転落に至った原因分析及び対策の実施
5. 医療安全対策加算1の要件を満たす医療安全研修参加人数の増加
6. 医療安全対策地域連携加算1の要件を満たす

安全の基本

指示・合図は **ハッキリ** と **ヨシ!!**
点検・確認は **シッカリ** と **ヨシ!!**
伝達・手順は **キチン** と **ヨシ!!**
声出し指差し みんなで守る!

以上を目標に、今後も安全で安心な医療を提供し、市民から信頼される病院となるため、医療現場における安全管理を徹底し事故防止に努めていきたいと考えています。

(文責 信長 直子)

医療局人事異動



転入 よろしくお願ひします \ (^o^) /

外科 中尾 寿宏 ナカノ トシロ

脳神経外科 小山 広士 コヤマ ヒロシ

整形外科 和田 一馬 ワダ カズマ

整形外科 百田 佳織 ヒヤクダ カオリ

皮膚科 大津 雅信 オオツ マサノブ

泌尿器科 小森 政嗣 コモリ マサツグ

泌尿器科 間島 大博 マシマ トヒロ

産科・婦人科 鎌田 周平 カマダ シュウヘイ

放射線科 原田 太平 ハラダ タイヘイ

病理診断科 榊 美佳 サカキ ミカ

麻酔科 山口 由紀 ヤマガチ ユキ



転出

脳神経外科 倉敷 佳孝 クラシキ ケイコ

泌尿器科 木内 慎一郎 キノチ シンイチロウ

放射線科 近藤 みほこ 近藤 ミホコ

泌尿器科 天野 慎二 アマノ シンジ

産科・婦人科 香川 智洋 香川 チヨウ

整形外科 杉浦 宏祐 杉浦 ヒロユキ

m () m お世話になりました

新しい職員が配属されました 塩江分院

本年4月1日の人事異動により新しい職員が塩江分院に配属となりましたので紹介します。

今回は、市民病院から看護師4名と理学療法士1名、新たに作業療法士1名が採用され計6名が配属となりました。

市民病院とは異なる形態の病院ではございますが、現職員と協力して塩江分院を盛り上げていきたいと考えています。

また、今年度からリハビリテーション科に理学療法士2名に加え、作業療法士1名が加わることで、慢性期病院である塩江分院として重要視されるリハビリテーションの機能が強化され、患者さんに入院時のみならず訪問リハビリ等、さらに幅広い医療ケアが提供できるようになりました。

引き続き皆様方の御支援の程よろしくお願ひします。



看護主任 山本 いずみ



看護師 池田 基子



看護師 多田 直子



看護師 中山 優子



理学療法士 喜多 智啓



作業療法士 谷岡 祐実



(塩江分院 事務局)

地域医療連携室の紹介

地域医療連携室からの御挨拶 ー新年度を迎えてー

地域医療連携室長 大野 義雄

この度、地域医療連携室長となりました大野です。

いつも病診連携の構築にご協力いただき誠にありがとうございます。

当院の基本方針である「高松市医療全体の最適化」を目標に「地域に密着した病診連携」を目指し活動の幅を広げていきたいと考えています。

今年度9月の新築移転に向けてより迅速でスムーズな医療連携が成されるよう、また、地域医療連携室業務の充実と拡大を図るためMSW、事務員を増員し、新たな体制のもと頑張る所存ですので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

よろしくお願いします
\\(^o^)/



『医療・介護関連施設職員研修会』開催



第48回



日 時：3月22日（木）14：00～15：30
テ マ：当院における入退院支援状況について
入退院時における
医療・介護連携についての意見交換会
担 当：退院調整の会
地域医療連携室
退院調整看護師 宇津 徹子
参加人数：24名

第49回

日 時：4月26日（木）14：00～15：00
テ マ：消灯後のラウンドのポイント
担 当：医療安全管理室
医療安全管理者 信長 直子
参加人数：19名



ご参加ありがとうございました

研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます。



…FAX予約をお願いします…

患者さんをご紹介いただく際に、地域医療連携室へ事前にFAX予約をお願いいたします。



受付時間 平日（月～金）午前 8時30分～午後 6時00分
電 話 (087) 834-2181代表 / (087) 834-2235（紹介予約専用）
F A X (087) 834-2223（地域医療連携室 直通）
0120-834-224（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております

高松市民病院 〒760-8538 香川県高松市宮脇町二丁目36番1号 087-834-2181（代表）